

医療法人社団 弘成会

「ときに治し しばし慰め つねに癒す」



医療法人社団 弘成会

明海病院

会社概要

- 代表者 ● 院長 小河 幹治
- 本社所在地 ● 明石市
- 事業内容 ● 診療科目：
内科、皮膚科、リハビリテーション科、
呼吸器科、胃腸科、放射線科
- 従業員数 ● 300名 うち障害者数4名(知的障害者4名)
- ホームページ ● <http://www.meikai.or.jp>

障害者雇用について人事担当者にインタビュー



あかし女性応援ねっども活躍されている
常務理事の小河 作江さん

障害者雇用推進のきっかけ・経緯は？

15年ほど前にそれまで清掃業務を担っていた方が退職することになり、新しい方の採用をハローワークに相談したことがきっかけです。就職説明会にお誘いいただき人材を募りました。その後は、定期的な説明会への参加や、実習の受け入れにより、現在4名の方に働いてもらっています。

採用はどのように？

まず、当病院の業務を担ってもらえるか実習を通して確かめます。ジョブコーチの支援を受けながら数人で実習を行い、その中から採用しています。近年は、いなみ野特別支援学校の先生と繋がりを持ち、清掃業務以外にも介護助手として働ける方を紹介いただきました。

採用については「できること」と「こちらでやってもらいたいこと、必要な業務」のすり合わせを十分に行い、障害者本人と特別支援学校の先生、障害者のご家族とも面談する機会を設け、仕事のミスマッチが起こらないように注意しています。業務に慣れる期間を十分にとるため、当病院では採用までにトライアル雇用を含め、秋と春に2回の実習期間を設けるようにしています。障害者の方には仕事と職場に慣れてもらい、私たちも教育担当者の選定やコミュニケーションの取り方などを確認する期間にしています。



インタビューに答える
看護部長の青山 岸江さん

採用された方はどのような職種に就かれていますか？

院内の清掃業務に従事している方と、介護助手に従事している方がいます。特に、介護の分野はどこも人材が不足しがちです。介護福祉士の資格がなくてもできる業務を担ってもらうことで、他の職員が介護に回せる時間を確保できますので、貴重な人材として活躍してもらっています。

障害者雇用で感じたこと、今後の課題は？

清掃業務と違い、介護の仕事は重労働であったり、入所者への接し方に配慮したりと、業務が多岐に渡ります。特別支援学校を卒業したばかりの若い女性にこなしてもらえるか心配することもありました。ただ、実際に働いてもらうと、任せた業務を真面目にこなし、時間も守って、「報・連・相」もしっかり行ってくれます。仕事に取り組む姿勢は私たちも見習う必要があると感じました。

課題としては大きく2つ、「新しい仕事、業務を覚えてもらう」「教育担当スタッフの世代交代」になります。当病院では長い方で14年近く勤めています。業務にも十分慣れて時間内に余裕をもってこなせる方もいますので、少しずつ新しいことに挑戦してもらっています。急に違う業務を増やすと混乱させてしまうので、ジョブコーチや教育担当者と相談しながら少しずつできることを広げていくようにしています。

また、年月を重ね、指導員や先輩スタッフの世代交代が必要な時期も迫ってきています。新しい方とも良好な関係を築けるよう、管理する立場の私たちも、本人や現場のスタッフと密に連携を取り、職場環境を整えていく予定です。



採用・雇用管理について答える
事務長の山田 泰嗣さん

雇用管理・サポート体制などで工夫されている事は？

新しい仕事を覚えてもらうといった点にも関係しますが、「誰にでもわかりやすいようにすることが大事だと思います。例えば、備品の「棚卸し・在庫管理」はそれまで定数が決まっておらず、職員各自の判断で補充していました。棚卸しの一部を担当してもらうため、定数を決めて数の超過や不足が起こりにくくしました。清掃業務についてはジョブコーチの方と協力して、掃除をする順番や時間をわかりやすく示したタイムスケジュール、チェックリストを作成しました。

また病院は、24時間365日体制ではありますが、中には日々の予定を急に変えることが難しい方もいますので、季節によって、夜勤や遅い時間の勤務にならないよう配慮しています。その他担当する業務、こなせる仕事によって、着用するユニフォームを変えています。病院や施設の利用者は、自然と近くに来たスタッフにいろいろな業務を頼んでしまいます。そこで、事前に彼らができることを明確にして、誤解や混乱が起こらないようにしました。

最後に、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業へのメッセージをお願いします。

一般の企業と病院とでは取り組み方が少し違うと思いますが、障害者ということで特別意識するのではなく、まずは人としてのふれあい、心の接点をしっかり持つことを心掛けてほしいと思います。外からの情報を積極的に取り入れ、障害者だけでなく女性や高齢者にも働きやすい環境を整えてもらいたいです。

勤務されている方へのインタビュー

いつからこの会社に勤めていますか？

特別支援学校を卒業して、去年の4月からここで働くようになりました。

どのような仕事に従事されていますか？

介護補助として、入浴や排せつの介助。寝たきりの方の体位交換、食事のお手伝いをしています。

当番制でナースコール対応やリネン交換をすることもあります。



勤務中の様子

この会社に勤めて良かったと思う事は？

最初の数カ月は仕事を覚えるのが大変でしたが、職場の人たちが優しく接してくれて、困ったときやわからないことがある時はすぐに相談に乗ってくれました。

今後の自分への課題・目標などあれば教えてください。

新しい利用者が来た時に、その人の情報をしっかり覚えて、何が必要か周りの人にも教えてあげられるようになりたいです。